

## 平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 学校概要

学校名 新居浜市立金栄小学校

種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中高一貫教育  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )

住所 〒792-0035  
愛媛県新居浜市西の土居町1丁目5番1号

E-mail：新居浜市立金栄小学校 (keie-ad@esnet.ed.jp)

Website：http://kinei-e.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数：男子181名 女子 155名 合計 336名  
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

### 2. 担当者 ※公表しません

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（福祉、ふるさと学習等）

## 4. 活動内容

### 1 テーマ（主題）

#### 金栄いきいきプロジェクト ～地域の方々との交流を通して～

ふるさと学習（地域の文化財等に関する学習）、防災教育、環境教育の実践を行う。

### 2 活動概要

【 地域に開かれた特色ある学校づくりの推進 】

#### (1) 地域との交流活動

地域の歴史巡検、伝統文化である「トンカカさん踊り」などの「ふるさと学習」を通して、地域を知り、日頃お世話になっている地域の方々に感謝の心を持ち、地域を愛する心を育てるとともに、地域の方々との交流を図る。

#### (2) 人と環境にかかわる体験活動

土に親しみ、四季折々の花や野菜を栽培し、人や環境と豊かにかかわる体験活動を行う中で、身近な自然を愛する豊かな心を育てる。

#### (3) 健全育成を図る活動

身近な自然を観察し、自分自身とのかかわりに気付き、自然や生き物への親しみを持つとともに、クリーン活動や地域防災等を通して、地域との連携を密にした交流を図る。

### ○ 交流活動

(5月) 金栄見守りボランティアの方々との対面式と交流会（地域の方々との交流）

トンカカさん踊り（伝統文化の継承である「トンカカさん踊り保存会」の方々との交流）

(6月) 町たんけん・地域の史跡巡り（地域の方々との交流）

(7月) クリーン活動（地域の方々と共に）

トンカカさん踊り（トンカカさん踊り保存会の方々との交流）

(8月) 親子のつどい（地域の方々との交流）

(9月) 金栄見守りボランティアの方々との交流会（地域の方々との交流）  
運動会「トンカカさん踊り」の発表（トンカカさん踊り保存会の方々との交流）

(10月) 地域の史跡巡り（地域の方々との交流）

福祉施設の方々との交流学習

地域総合防災訓練（地域の方々と共に）

(11月) 地域防災まち歩き、安全マップ作り（地域の方々と共に）

金栄見守りボランティアの方々との交流会（地域の方々との交流）  
福祉施設の方々との交流学習

昔の遊び（老人会の方々との交流）

(12月) ドリームツリー金栄ふれあい広場（地域の高齢者の方々との交流）

福祉施設の方々との交流学習

(1月) 校内学習発表会（自分たちにできることの実践、地域の方々との交流）

(2月) 金栄見守りボランティアの方々との交流会

(年間通して) 朝の時間の読書活動(保護者・地域の方々との交流)

○ 花づくり(地域の方々との交流)

- (4月) 縦割班編制・プランターに寄せ植える花を決める。
- (5月) プランターの土作りをし、花の苗を植える。
- (6月) 縦割班で花の世話をする。
- (10月) プランターの土作りをし、花の苗を植える。
- (11月) 公民館や地元の福祉施設等へ花を贈る。
- (1月) 施肥をし、草引きをする。

○ 地域の方々との交流活動を通して、地域と連携し、体験的に学習活動を展開し、その成果を校内学習発表会、学校便り、学校ホームページなど多種多彩な方法を活用し情報発信する。

3 主な活動内容について

【総合的な学習の時間 地域防災「防災マップづくり」(5年)(37時間)】

(ねらい)・ 自分たちが住む地域がどのような災害の危機に直面しているかについて、認識を深めるとともに、災害時の諸問題について理解する。

- ・ 地域の方々と共に地域防災に取り組む中で、地域との関わり合いを深め、地域への帰属感や連帯感を育む。
- ・ 地域防災訓練時の防災体験、引き渡し活動、防災マップづくりなどの体験活動を通して、地域全体で防災力を向上させることの大切さを学ぶとともに、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

(活動の実際)

1 地域防災「防災マップづくり」

- (1) 自分たちの住む地域が直面する災害の危機について考える。
  - (2) 地域の方と防災マップづくりをしよう。  
(防災まちあるき)
  - (3) 地域防災まちあるきの計画を立てよう。
  - (4) 地域防災まちあるきをしよう。
  - (5) 防災マップづくりを仕上げよう。
  - (6) 防災マップを地域に生かそう。
- (7) 防災マップづくりを通して、災害に強いまちづくりを目指そう。(防災マップづくり)



【総合的な学習の時間 「トンカカさん踊り」(3~5年)(6時間)】

(ねらい)・ トンカカさん踊りの歴史を学び、体験することを通して、子どもたちの好奇心や探求心を育む。

- ・ 自分たちにもできる伝統文化の継承への関心を広げると共に、コミュニケーション力や共感力、地域に伝わる伝統文化の継承

についての意欲や態度を養う。

- ・ トンカカさん踊りの体験活動を通して、地域全体で伝統文化の継承を行うことの大切さを学ぶとともに、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付ける。

(活動の実際)

## 2 「トンカカさん踊り」

- (1) トンカカさん踊りの歴史を学ぶことにより、伝統文化の継承への意欲を高める。
- (2) トンカカさん踊りの計画を立てる。
- (3) トンカカさん踊りの伝承を行う。
- (4) トンカカさん踊りを運動会で発表する。(トンカカさん踊りの練習)
- (5) トンカカさん踊りについて振り返り、学習のまとめをする。



(運動会・トンカカさん踊り)

## 4 成果と課題

### 成果

- ・ 防災活動や伝統文化の継承における地域の方々との交流等を通して、地域と連携し、体験的に学習活動を展開し、その成果を交流学习、校内学習発表会、学校便り、学校ホームページなど、多様な方法を活用し情報発信をすることにより、自分で調べたり考えたりするなど、積極的に学習する意欲を高め、地域の特性や学校の創意工夫を生かした特色ある教育を展開することができた。
- ・ 体験活動を通して、地域の防災活動に役立てるとともに、災害から自分たちの命を自分たちで守る姿勢や地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付けることができた。また、伝統文化の継承を通して、古くから伝わる伝統文化を現在に生かしながら生命を尊重する心を育成し、教科等で学習した知識や技能を実際の場面で生かすとともに、地域を知り、地域を愛する心を育成することができるようになってきている。

### 課題

- ・ 地域の方々と連携した交流を通して、体験的に学習活動を展開し、その成果を、今後も継続して多様な方法を活用し情報発信していきたい。
- ・ 児童の理解と姿勢の評価についても、工夫し改善していきたい。また、小中連携等との情報交換を密にし、取組等の共有化を図っていきたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）